

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等ディサービス　すくすく		公表日		2026年9月15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容やお子様の状況に応じてスペースの使い方を工夫し、安心・活動内容やお子様の状況に応じてスペースの使い方を工夫し、安心・安全に活動できる環境づくりを心がけています。全に活動できる環境づくりを心がけています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、　職員の配置数は適切であるか。	○		法令に基づいた人員配置を行っております。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		お子様一人ひとりの特性や身体状況に応じて、分かりやすく安心して過ごせるよう環境づくりを工夫しています。	建物の構造上、十分なバリアフリー化が難しい部分もありますが、お子様の身体状況に応じた環境整備や安全面への配慮に努めてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃・整理整頓を行い、清潔で心地よく過ごせる環境づくりに努めています。また、ワンフロアの空間を広く活用し、お子様の特性や活動内容に応じて柔軟に使えるよう工夫しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	個別での対応が必要な場合には、カーテンで空間を仕切るなど、一人ひとりが落ち着いて過ごせる環境を確保できるよう工夫しています。	ワンフロアのため、完全な個室を確保することは難しいですが、必要に応じてカーテン等で空間を仕切り、個別に安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		日々の業務について職員間で情報共有や振り返りを行い、必要に応じて改善点を話し合いながら支援や業務の改善につなげています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ご家族様に評価表へご回答いただき、その結果やご意見を職員間で共有し、日々の支援や業務の改善につなげています。	今後もより多くのご家族様からご意見をいただけるよう工夫し、いただいたご意見をより良い支援や業務改善につなげてまいります。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の振り返りや職員間での意見交換を大切にし、それぞれの意見や気づきを共有しながら、支援や業務の改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	現在、第三者による外部評価は実施していません。	今後、必要に応じて第三者による外部評価の活用について検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		職員の資質や支援の質の向上を図るため、年間計画に基づいた事業所内研修の実施や、必要に応じて外部研修を受講する機会を設けています。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		作成した支援プログラムについて、ホームページ等で公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	○		ご家族様との面談やアセスメントを通して、お子様の状況や成長、ニーズや課題を把握し、一人ひとりに合った個別支援計画を作成しています。また、お子様の成長や状況の変化に応じて、支援内容の見直しを行っています。		
	13	放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、お子様の支援に関わる職員間で情報を共有し、一人ひとりの状況やニーズを踏まえながら、必要な支援内容について検討し、個別支援計画の作成につなげています。		
	14	放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画の内容を職員間で共有し、共通理解のもと計画に沿った支援を行っています。また、日々のお子様の様子や状況の変化についても情報共有し、必要に応じて柔軟に対応しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日々のお子様の様子や行動を観察し、アセスメントを通して一人ひとりの状況や特性を把握しています。その内容をもとに、個別活動や集団活動での支援につなげています。		
	16	放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援・家族支援・移行支援・地域支援・地域連携の視点を踏まえ、お子様一人ひとりに必要な支援内容を具体的に個別支援計画に設定し、ご家族様にも内容をご確認いただいたうえで、計画に沿った支援を行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で意見を出し合い、お子様の興味や特性、成長に合わせた活動内容を検討しながら、チームで活動プログラムを立案しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		活動が特定の曜日に固定されないよう、さまざまなプログラムを取り入れています。また、決まった活動に安心感を持つお子様もいるため、一人ひとりの特性や状況に合わせた柔軟な対応を大切にしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様一人ひとりの状況や特性に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成し、計画に沿った支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で打ち合わせや申し送りを行い、その日の支援内容や役割分担、お子様の状況等を確認したうえで、職員間で連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		その日の支援について職員間で振り返りを行い、お子様の様子や支援内容、気づいた点等を共有し、今後の支援につなげています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援内容やお子様の様子を記録し、職員間で共有・振り返りを行いながら、より良い支援に向けた検証や改善につなげています。	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1度モニタリングを行い、お子様の成長や状況、支援目標の達成状況等を確認し、個別支援計画の見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		4つの基本活動を取り入れ、お子様一人ひとりの状況や特性に応じて、複数の活動を組み合わせた支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		「できた」「わかった」「やってみよう」「やってみよう」という経験を大切にするとともに、お子様自身が選択できる機会を設け、自分で考えて決める力を育てられるよう支援しています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議には、お子様の日頃の様子や支援状況をよく理解している職員が参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて、学校や相談支援事業所、医療機関等の関係機関と情報共有や連携を行いながら支援できる体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校へのお迎え時などに、お子様の様子や下校時刻等について必要な情報共有や連絡調整を行っています。また、担当者会議等が開催される際には積極的に参加し、学校や関係機関との連携を図っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		必要に応じて、就学前に利用していた保育所や幼稚園、児童発達支援事業所等と情報共有を行い、お子様のこれまでの様子や支援内容を把握したうえで、支援につなげています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		学校卒業後の移行に際して、必要に応じてこれまでの支援内容やお子様の状況等について情報提供を行い、移行先の障害福祉サービス事業所等との情報共有・連携に努めています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		地域の児童発達支援センターの相談員とは、必要に応じてお子様の状況について情報共有や連携を行っています。	今後は必要に応じて、専門的な助言を受ける機会や研修への参加についても検討し、より良い支援につなげてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		同法人の他事業所のご利用者様との交流の機会を設け、人との関わりや交流の幅を広げられるよう取り組んでいます。	現在、地域の他のこどもと交流する機会は設けていません。今後はお子様やご家族様のご希望も踏まえながら、地域との交流や関わりについて検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		北区自立支援協議会のこども部会に加入し、地域の関係機関とのつながりを持つよう努めています。	こども部会には加入していますが、現在は会議への参加が十分にできていないため、今後は可能な範囲で参加の機会を設け、地域の関係機関との情報共有や連携につなげてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃からご家族様とお子様の様子や成長、課題について情報共有を行い、共通理解を持ちながら支援を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		送迎時や面談等を通して、お子様の様子やご家庭での関わり方について情報共有や相談対応を行い、ご家族様に寄り添った支援を心がけています。	現在、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムや、ご家族様が参加できる研修の機会は設けていません。今後は必要に応じて、家族支援の充実や情報提供の方法について検討してまいります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約時に各書面をお示ししながら、運営規程や支援プログラム、利用者負担等について、分かりやすく丁寧に説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的に面談を設けており、ご家族様とゆっくりお話しする機会を設けております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画をお示ししながら支援内容について丁寧に説明を行い、ご家族様に内容をご確認いただいたうえで、同意をいただいています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		日頃から気軽にご相談いただけるようお伝えし、ご相談があった際には面談等を通してお話を伺い、必要に応じて助言や支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		ご家族様のご要望を伺い、保護者同士で交流していただける機会として保護者会を開催したことがあります。	今後もご家族様のご希望を伺いながら、保護者同士やきょうだい同士が交流できる機会について検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情やご相談に対応できる体制を整え、ご契約時に相談窓口等についてご説明しています。また、苦情等があった場合には職員間で共有・検討し、迅速かつ適切な対応に努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		毎月すくすくだよりを発行するとともに、InstagramのSNSを活用し、日々の活動や行事の様子、連絡事項等を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報を含む書類は鍵付きの書庫で適切に保管し、個人情報の管理や取扱いには十分に注意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様一人ひとりの特性や理解に合わせた声かけや関わり方を工夫しています。また、ご家族様とは送迎時や連絡帳、電話やLINEを活用し、日々の様子について情報共有を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、地域の方々と交流する機会は設けていません。今後は地域とのつながりを持てるよう、交流の機会や地域に開かれた取組について検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		○	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを整備し、職員間で周知・共有しています。また、非常時等を想定した訓練や研修を実施し、安全に対応できるよう努めています。	各種マニュアルについて、ご家族様への周知が十分ではないため、今後は非常時の対応や事業所の取組について、分かりやすくお伝えできるよう取り組んでまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	業務継続計画（BCP）を策定し、非常災害の発生に備えて、職員による避難・救出等の訓練を実施しています。	お子様にも参加していただく避難訓練を定期的に実施し、非常時にも安心して行動できるよう取り組んでまいります。また、訓練の様子や避難場所等について、ご家族様にも分かりやすくお伝えしてまいります。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご利用前に服薬や発作等のお子様の状況を確認するとともに、ご利用開始後も必要に応じてご家族様に状況の変化等を確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時に食物アレルギーの有無や内容について書面で確認し、必要な情報を職員間で共有しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練を実施しています。また、日頃から職員間で安全面について確認・共有し、適切な職員配置のもと、安全に配慮した支援を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく取組について、必要に応じてご家族様へお知らせし、お子様の安全確保に向けた情報共有や連携に努めています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットが発生した際には職員間で事例を共有し、原因や対応について振り返りを行い、再発防止策を検討して今後の支援に活かしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員全員で虐待防止チェックリストを実施するとともに、虐待防止に関する研修を行っています。職員一人ひとりが虐待防止への意識を持ち、適切な支援を行えるよう取り組んでいます。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在、身体拘束を必要とするお子様はいませんが、やむを得ず身体拘束が必要となる場合の対応について職員間で共有し、適正な対応ができるよう取り組んでいます。	